



田中 豊
アートグリーン
取締役社長

経済同友会 つながる▶▶

リレートーク #224

CSRからCSVを目指して



北野 俊
サンオータス
取締役社長

神奈川県を地盤とする企業として始めたCSR活動の一つが、平塚競技場の命名権（ネーミングライツ）取得でした。BMW正規販売店2社を買収し、2012年から平塚競技場を「Shonan BMW スタジアム平塚」と改めました。

同スタジアムはJリーグ湘南ベルマーレのホームスタジアムであり、地元出身の私にとってはJ2に降格したこのチームを盛り上げたいという気持ちもありました。

2012年ホーム開幕戦、ゴール裏のスタンドに集まる熱狂的なサポーターに挨拶に行くと、「BMW！ BMW！ BMW！」の大合唱です。驚きと喜びで感動し涙していると、サポーターの一人がメガホンで「俺たちBMWは買えないけど、応援はするぜ〜！」と声を上げました。観客席は大爆笑となり、再度、BMWコールがスタジアム中に響き渡りました。一瞬、ガクッときたものの、「目先の利益を追ってはダメだ。これは地域貢献なのだから！」と自分に言い聞かせました。

その後、この命名権取得はさまざまな形で広がりを見せます。①サッカー観戦に来る子どもたちが車に興味を持ち始め、「若者の車離れ」防止策に。②月に一度の社員によるスタジアム周辺清掃は55回を数え、社員の意識変革に。③湘南ベルマーレが1年でJ1に昇格！ ④湘南ベルマーレの選手がセカンドキャリアとして当社で活躍。こうした予想していなかった効果が生まれ、企業としてのあり方をあらためて学ぶ機会となりました。

これから新たに進めるCSRは、2018年に横浜市の綱島で開設する「慶應義塾大学国際学生寮」です。CSRというよりはCSV（Creating Shared Value：共通価値の創造）に近いといえるでしょう。戦略的CSRとも呼ばれ、「事業活動地域での事業基盤強化と地域貢献の統合」を目指すものです。

横浜市、パナソニック、共立メンテナンス、三菱UFJ信託銀行との共同事業となり、Tsunashima サステナブル・スマートタウン構想に基づき、外国人留学生と日本人学生が共に暮らし、互いに教え学び合いながら、日常的に国際感覚や多様性を育む混住型国際学生寮がコンセプトです。母校でもある慶應義塾大学は文部科学省が進める「スーパーグローバル大学創成支援」で世界レベルの大学を目指しており、グローバル化と地域・社会貢献を併せた産学連携プロジェクトとしてお役に立ちたいと考えています。

▶▶ 次回リレートーク

津上 晃寿
キャノントッキ
取締役会長兼CEO